

令和4年度 臨床研究テーマ成果報告書

診療科（部）名：咀嚼補綴科																																														
第4期中期目標・中期計画期間中の臨床研究テーマについて該当するものにチェックを入れてください。（塗りつぶし可）																																														
<input type="checkbox"/> 1. 「歯科再生・再建医療拠点形成による先進的歯科医療の推進」に関する臨床研究 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 「オーラルビッグデータ管理体制の整備」に関する臨床研究 <input type="checkbox"/> 3. 「『口の難病』バイオリソースの整備と活用支援の推進」に関する臨床研究 <input type="checkbox"/> 4. 「歯科医学臨床教育の質保証」に関する臨床研究 <input type="checkbox"/> 5. その他																																														
研究期間：2020年7月8日～2025年3月31日																																														
研究課題名：歯科疾患・口腔機能と健康長寿との関係																																														
<p>研究課題の概要及び成果：長寿は、遺伝的要因、生活環境、社会経済的要因、精神的・身体的健康習慣、疾患の治療歴などが複雑に絡み合っており、口腔機能の維持は、長寿への大きな要因の一つであると考えられる。本研究では、歯科疾患や口腔機能が、認知・運動機能、全身疾患、血中老化物質、老化、幸福感にどのように影響するかについて、縦断研究によって明らかにすることを目的としている。</p> <p>本年度は、2012年度、2015年度、2018年度のSONIC研究に新規に参加した89-91歳の自立した地域在住高齢者717名（男性：355名、女性：362名）を対象に残存歯数と幸福感との関連について検討した。幸福感を目的変数とした重回帰分析の結果、幸福感に関わる様々な因子を調整したうえでも、残存歯数は、幸福感に有意な関連を認めた（参照：20本未満群、20本以上群：B（非標準化回帰係数）=1.66, p=0.001）（表）。</p>																																														
上記概要・成果に関連する図表等	<p>表. 重回帰分析による幸福感に関連する因子の検討</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">変数</th> <th>B</th> <th>p-value</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>性別(参照: 男性)</td> <td>1.93</td> <td>0.003</td> </tr> <tr> <td>調査年度(参照: 2012)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>0.44</td> <td>0.411</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>-1.06</td> <td>0.049</td> </tr> <tr> <td>経済状況(参照: ゆとりなし)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ふつう</td> <td>2.14</td> <td><0.001</td> </tr> <tr> <td>ゆとりあり</td> <td>2.74</td> <td><0.001</td> </tr> <tr> <td>独居(参照: いいえ)</td> <td>-0.58</td> <td>0.237</td> </tr> <tr> <td>認知機能</td> <td>-0.18</td> <td>0.001</td> </tr> <tr> <td>握力</td> <td>0.10</td> <td>0.029</td> </tr> <tr> <td>性格傾向</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>神経症</td> <td>-0.30</td> <td><0.001</td> </tr> <tr> <td>誠実性</td> <td>0.33</td> <td><0.001</td> </tr> <tr> <td>歯数(参照: 20本未満群)</td> <td>1.66</td> <td>0.001</td> </tr> </tbody> </table>	変数	B	p-value	性別(参照: 男性)	1.93	0.003	調査年度(参照: 2012)			2015	0.44	0.411	2018	-1.06	0.049	経済状況(参照: ゆとりなし)			ふつう	2.14	<0.001	ゆとりあり	2.74	<0.001	独居(参照: いいえ)	-0.58	0.237	認知機能	-0.18	0.001	握力	0.10	0.029	性格傾向			神経症	-0.30	<0.001	誠実性	0.33	<0.001	歯数(参照: 20本未満群)	1.66	0.001
変数	B	p-value																																												
性別(参照: 男性)	1.93	0.003																																												
調査年度(参照: 2012)																																														
2015	0.44	0.411																																												
2018	-1.06	0.049																																												
経済状況(参照: ゆとりなし)																																														
ふつう	2.14	<0.001																																												
ゆとりあり	2.74	<0.001																																												
独居(参照: いいえ)	-0.58	0.237																																												
認知機能	-0.18	0.001																																												
握力	0.10	0.029																																												
性格傾向																																														
神経症	-0.30	<0.001																																												
誠実性	0.33	<0.001																																												
歯数(参照: 20本未満群)	1.66	0.001																																												
<p>当該臨床研究が「口の難病プロジェクト」に関連しているか否か下記のBOXのいずれかにチェックを付してください。（塗りつぶし可）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 関連がある</p> <p><input type="checkbox"/> 関連はない</p>																																														